

絶滅危惧類 ラン科

コアツモリソウ

Cypripedium debile Rchb. f.

全国カテゴリー；絶滅危惧類

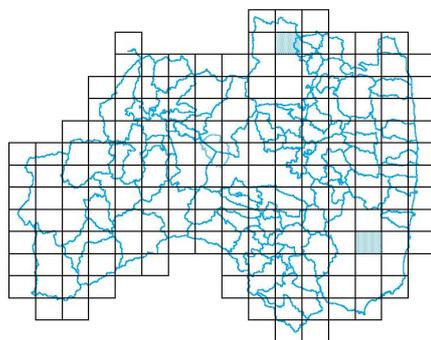
【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少 全ての生育地で生育条件が悪化 全ての個体群で強い捕獲・採取圧により減少

【形態】 多年草。根茎は横にはう。15cm程の茎があって2枚の葉が対生する。葉の葉脈は3～5本あって光沢がある。大きさは長さ・幅とも5cm程で縁は波うつ。5月頃、2cm程の花1個を茎の先端につけ垂れ下がって開花する。がく片・側花弁は淡黄緑色。唇弁は袋状で紅紫色の条斑がある。

【分布】 北海道(西南部)・本州中北部・四国(高知県)・九州(熊本県)、中国に分布する。

【県内の分布、生育状況】 県内の山林の林床の適潤地にまれに生える。

【生育に影響を与えている要因】 森林伐採、園芸採取



絶滅危惧類 ラン科

写真ページ

クマガイソウ

Cypripedium japonicum Thunb.

全国カテゴリー；絶滅危惧類

【選定根拠】 全ての個体群で強い捕獲・採取圧により減少

【形態】 多年草。根茎は横にはう。茎は高さ30cm前後で粗毛が密生する。下部の葉は鞘状、上部の2枚の葉は径10～20cm、扇円形で放射状の脈が目立つ。4～5月に茎頂に10cm程の花1個が垂れ下がって開花する。がく片・側花弁は淡黄緑色。唇弁は大きな袋状で淡白色で紅紫色の脈がある。

【分布】 北海道西南部・本州西北部・四国(高知県)・九州(熊本県)、中国に分布する。

【県内の分布、生育状況】 各地の雑木林やスギ林・竹林下に生え時に群生する。

【生育に影響を与えている要因】 森林伐採、園芸採取

